

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

二輪車の交通事故発生状況 令和3年中

1 二輪車事故の発生状況

令和3年中の二輪車が関係した人身交通事故は、前年と比較して、発生件数及び負傷者数は増加しており、死亡事故も8件8人で+3件+3人と増加しました。

【二輪車事故の発生状況】 (令和3年中)

区 分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	281	8	8	75	216	291
前年	263	5	5	68	208	276
増減数	18	3	3	7	8	15
増減率	6.8	60.0	60.0	10.3	3.8	5.4

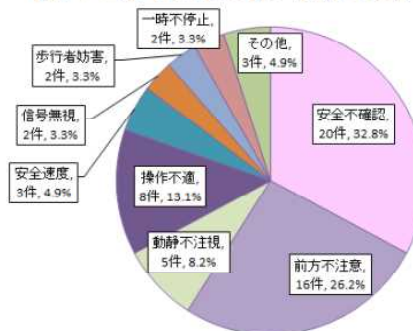
※本表の死傷者数には二輪車乗車中以外の死傷者を含む。

○ 二輪車が第1当事者となった事故 (令和3年中概数)

二輪車事故281件のうち、二輪車が第1当事者となった事故は61件で、そのうち37件(60.7%)が原付でした。

第1当事者の違反別では、安全不確認が61件中20件(32.8%)で最も多く、次いで前方不注意が16件(26.2%)で多くなりました。

【第1当事者となった二輪車の違反】



【二輪車の交通死亡事故発生状況】 (令和3年中)

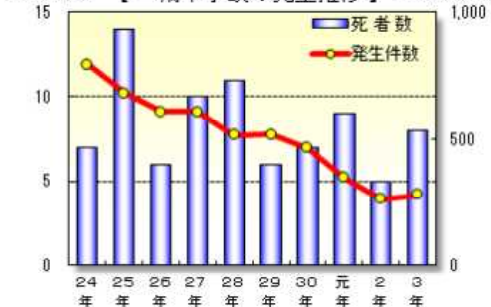
No.	発生日月日等								死者				
	年	月	日	時	曜	昼夜	天候	発生場所	路線	形状	事故類型	状態	高齢者
1	3	4	11	19	日	夜	晴	青葉区北根黒松	県道	交差点	二輪対四輪	自二	-
2	3	6	13	14	日	昼	晴	白石市越河平	高速道	カーブ	二輪車単独	自二	-
3	3	7	19	8	月	昼	晴	七ヶ浜町吉田浜	県道	カーブ	二輪車単独	原付	○
4	3	7	24	18	土	昼	晴	村田町菅生	県道	カーブ	二輪車単独	自二	-
5	3	8	1	21	日	夜	晴	名取市増田	国道	交差点	二輪対四輪	自二	-
6	3	9	14	3	火	夜	晴	角田市枝野	県道	直線	二輪車単独	原付	-
7	3	10	8	9	金	昼	曇	石巻市須江	国道	直線	二輪対四輪	自二	-
8	3	11	14	8	日	昼	晴	山元町山寺	県道	カーブ	二輪対四輪	自二	-

2 二輪車事故の発生推移 (基礎データ平成24年～令和3年)

二輪車事故の発生件数は減少傾向が続いていましたが、令和3年は281件で前年比+18件と増加しました。記録の残る昭和41年以降で最少だった令和2年と同様に、ピーク時(昭和45年、2,711件)の約1割で推移しています。

死者数は平成24年以降、14人以下で増減を繰り返しており、令和3年は8人で前年比+3件+3人となりました。

【二輪車事故の発生推移】 発生件数(件)



区 分	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年
発生件数	793	683	608	610	516	518	465	349	263	281
死者数	7	14	6	10	11	6	7	9	5	8

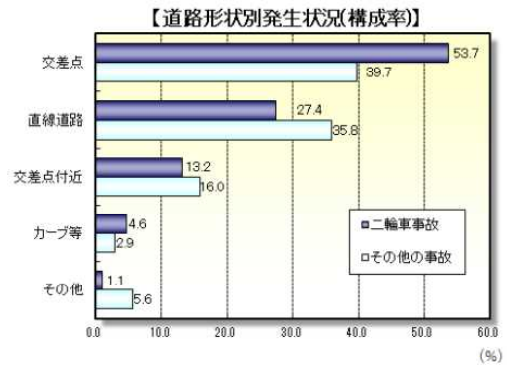
※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

3 二輪車事故の発生特徴等 (基礎データ令和3年中)

(1) 交差点での発生が多い

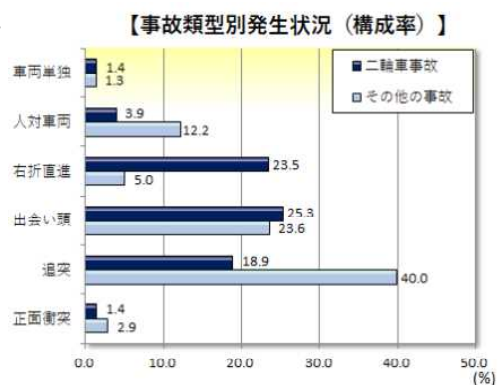
二輪車事故の半数(281件中151件、53.7%)が交差点で発生しており、構成率がその他の事故(4,005件中1,589件、39.7%)を14.0ポイント上回りました。

一方、直線道路での発生は27.4%(281件中77件)で、構成率がその他の事故(4,005件中1,435件、35.8%)を下回りました。



(2) 仙台市内での発生が多い

6割以上(281件中186件、66.2%)が仙台市内で発生(青葉区58件、宮城野区21件、若林区36件、太白区30件、泉区41件)しており、全事故の構成率(4,286件中2,233件、52.1%)を14.1ポイント上回りました。



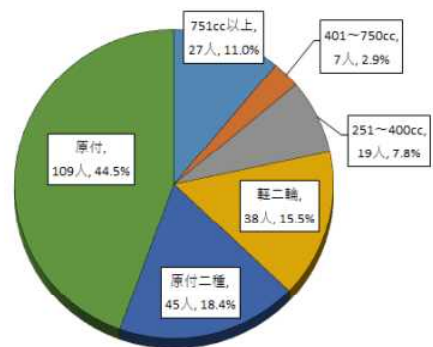
(3) 出会い頭事故等が多い

事故類型別では、ほとんどが車両相互事故(281件中266件、94.7%)であり、中でも出会い頭事故(71件、25.3%)が最も多くなりました。

また、右折直進事故(66件、23.5%)も多く、構成率がその他の事故(4,005件中202件、5.0%)の4.7倍となりました。

一方、追突は18.9%(281件中53件)ですが、構成率がその他の事故(4,005件中1,600件、40.0%)を21.1ポイント下回りました。

【二輪車乗車中死傷者の車種別割合】



(4) 原付乗車中の死傷者が多い

二輪車乗車中死傷者の車種別では、原付(第一種)が4割以上(245人中109人、44.5%)を占め、最も多くなりました。

(5) 20歳代が死傷する事故が多い

二輪車乗車中の死傷者の年齢別では、20歳代が245人中58人(23.7%)で最も多くなりました。

学職別では、高齢者が29人(11.8%)で多くなりました。



※学職別は主なものの抜粋

区分	年齢別								学職別				
	~19歳	20~24	25~29	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳~	計	高校生	大学生	他学生	高齢者
死者数	2			1	1	3		1	8		1	1	1
構成率	25.0	0.0	0.0	12.5	12.5	37.5	0.0	12.5	-	0.0	12.5	12.5	12.5
負傷者数	21	36	22	39	39	38	21	21	237	9	19	9	28
構成率	8.9	15.2	9.3	16.5	16.5	16.0	8.9	8.9	-	3.8	8.0	3.8	11.8
死傷者数	23	36	22	40	40	41	21	22	245	9	20	10	29
構成率	9.4	14.7	9.0	16.3	16.3	16.7	8.6	9.0	-	3.7	8.2	4.1	11.8